

このリーフレットの提案モデルで使用する製品

既存環境をサーバ統合するときの稼働情報を把握、分析するには

JP1/Performance Management 他 税込価格 840,000円～
(監視エージェントの数によって価格が変動します)

仮想環境の運用を自動化するには

JP1/Automatic Job Management System 3 他 税込価格 504,000円～
(CPUの数によって価格が変動します)

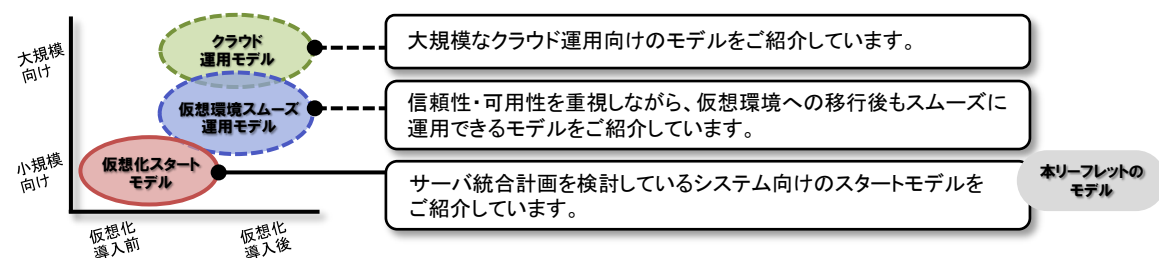
業務を止めないでバックアップデータを取得するには

JP1/VERITAS Backup Exec 2010 他 税込価格 308,385円～
(バックアップ対象の物理サーバの数によって価格が変動します)

このほかのモデルのご紹介

仮想化スタートモデルのほかにも、日立オープンミドルウェアの仮想化に関するシステムモデルをご紹介します。詳しい情報は下記ページからご覧ください。

<http://www.hitachi.co.jp/soft/virtual/sol/>



製品サイトのご紹介

このリーフレットで扱っている製品の詳しい情報は下記のページからご覧ください。

統合システム運用管理 JP1

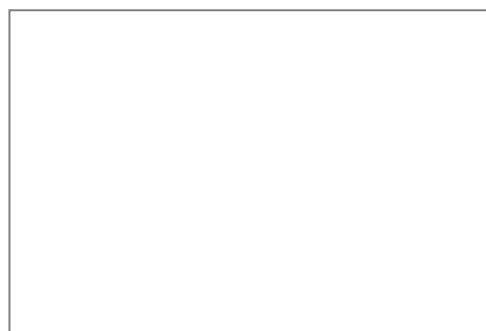
<http://www.hitachi.co.jp/jp1/>

製品に関するお問い合わせ

製品に関するご相談は、下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

HMCC (日立オープンミドルウェア 問い合わせセンター)
0120 - 55 - 0504

携帯電話、PHSなどからは03-5439-2733 (通話料: 有料)
利用時間 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・弊社休日を除く)



仮想化スタートモデル

仮想化導入後の運用を見据えた サーバ統合のご提案

サーバ統合って何から
始めるの？

仮想環境になったら
稼働率って向上するの？

仮想環境の運用って
めんどろ？

仮想化によるサーバ統合をこれからスタートしようとして
いるお客さまにぴったりのシステム運用をご紹介します！

仮想化によるサーバ統合で期待することは？



【参考】
2010/11/9開催 vFORUM2010(ヴァイエムウェア社主催)
日立JP1セミナーアンケート結果

ハードウェア稼働率の向上は、
現状を踏まえたサーバ統合計画 がポイント。

また、運用管理工数の削減は、
日々の運用の自動化 で実現。

サーバ統合と
その後の仮想環境の運用は
JP1におまかせ!

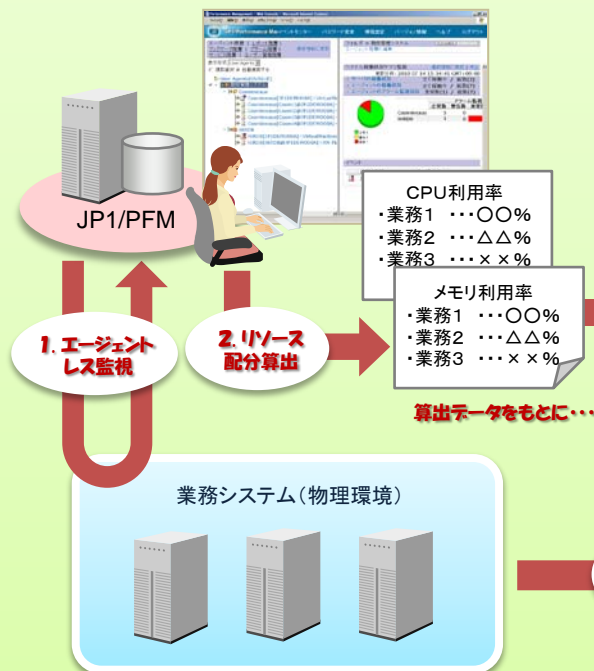
JP1で最適な仮想環境を実現しましょう

現状を踏まえたサーバ統合計画

まずは、現状システムの稼働情報をもとに、仮想マシンに割り当てるリソース配分を算出しましょう。仮想化によって、ハードウェアの稼働率を向上させるには、**稼働情報を正確に把握・分析**し、綿密にリソース配分を算出することが大切です!

JP1/PFM で現状システムの稼働情報をエージェントレス監視

現状システムに負荷をかけないエージェントレス監視で、稼働情報を把握・分析できます。また、JP1/PFMは物理環境だけでなく、仮想環境の稼働情報も監視できるため、サーバ統合後も継続して活用することができます。

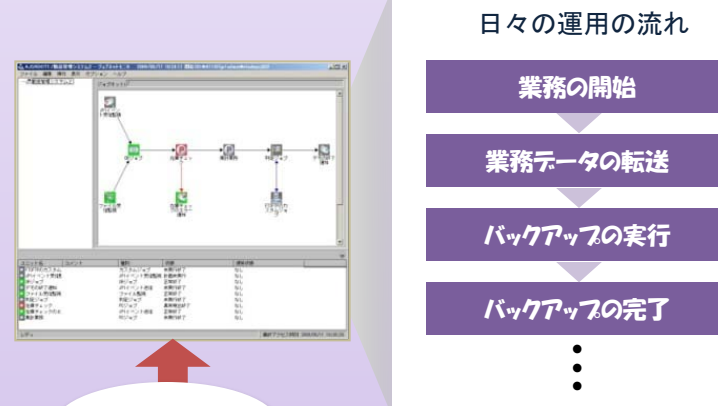


日々の運用の自動化

仮想環境では、1つの物理サーバ内で複数の業務システムが稼働します。リソース負荷が集中し、稼働が滞ってしまうことのないよう、業務システムでの定型的な作業は、スケジューリングして計画的に運用しましょう。運用管理工数を最小限に抑え、かつスケジュールどおりに作業を進めるには、日々の**作業を自動化**して運用するのが効果的です!

JP1/AJS で業務システムの定型作業を自動化

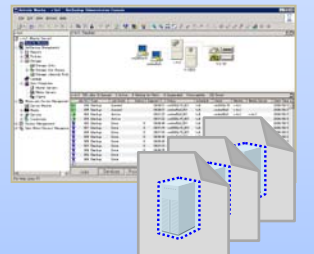
定型的な作業とその実行順を定義することで、業務システムの運用を自動化できます。自動化することによって、人為的なミスを防止するだけでなく、一つの物理サーバに集約された複数の業務システムを効率的に運用できるようになります。



もっと便利に

JP1/VERITAS で業務を止めずにバックアップしましょう

JP1なら、業務システムを停止しないでバックアップできます。作業時間が省力化され、業務への影響も最小限に抑えることができます。



JP1/PFMは、仮想環境の稼働情報も把握できます。継続して活用しましょう!

自動化して、初めての仮想環境の運用も安心!